

# 静岡 岡大 学公 開講 座

大学から広がる、新しい学び。  
地域へ広がる、静大の14講座。

## CONTENTS

受講にあたって	1
公開講座開設一覧	2
公開講座実施期間一覧	4
講座案内	
教養を高める	6
科学・自然に親しむ	12
身体を動かそう	15
指導者を育てる	17
交通案内	20



静岡大学

2009



## 1 受講対象者

原則として、どなたでも受講できます。ただし、講座により受講対象を限定している場合がありますので、各講座の「対象」の欄をご覧ください。

## 2 実施会場

公開講座の会場は、講座によって異なります。各講座の「会場」の欄をご覧ください。なお、会場への交通案内については、20～23ページにまとめて掲載しています。

## 3 受講手続きについて

各講座へのお申し込みの後、受講料納入の方法や実施会場など、詳細について連絡を差上げます。なお、それぞれの講座は先着順となりますので、定員に達した場合にはお断りすることもあります。予めご了承ください。

## 4 修了証書の授与

修了された方には静岡大学より修了証書を発行します。

## 5 お問い合わせについて

講座内容や、その他受講に関するお問い合わせは、各講座の「主催・問合せ」欄に記載されている連絡先をお願いいたします。

種別	No.	講座名	講師	ページ
教養を高める	①	世界の演劇文化の楽しみ方	人文学部教授 上利博規 人文学部教授 鈴木実佳 人文学部教授 岡崎真紀子 人文学部准教授 花方寿行	6
	②	対人援助サービスの質的向上を目指して～ヒューマンケアに支えられた共生社会のために～	人文学部教授 松田 純 法科大学院教授 藤本 亮 人文学部准教授 堂園俊彦 人文学部教授 南山浩二 人文学部准教授 荻野達史 人文学部准教授 竹ノ下弘久 人文学部准教授 橋本 剛 人文学部教授 平岡義和	7
	③	聞いてよかった！日本語ゼミナール	人文学部教授 勝山幸人 人文学部教授 服部義弘 人文学部教授 城岡啓二 人文学部教授 熊谷滋子 人文学部准教授 大村光弘	8
	④	高齢化社会における地域とまちづくり	教育学部准教授 中條暁仁 教育学部准教授 矢野敬一 人文学部教授 南山浩二	9
	⑤	アジアの人々と暮らしは今	人文学部教授 大野 旭 人文学部教授 浅利一郎 人文学部教授 上利博規	10
	⑥	情報学アラカルト講座2009	情報学部教授 竹林洋一 情報学部准教授 竹内勇剛 情報学部教授 雨宮正彦 情報学部教授 高松良幸	11
科学・自然に親しむ	⑦	体験・大学の化学実験	機器分析センター准教授 近藤 満 理学部助教 仁科直子	12
	⑧	静大キャンパス探訪～キャンパス内の自然と歴史に触れよう～	人文学部教授 滝沢 誠 教育学部技術職員 新妻廣美 教育学部教授 小南陽亮	13
	⑨	バイオテクノロジー体験～生長点培養をしてみよう～	農学部准教授 河原林和一郎 農学部助教 浅井辰夫 農学部助教 八幡昌紀 農学部技術専門職員 増田幸直 農学部技術専門職員 西川浩二 農学部技術専門職員 成瀬博規	14

種別	No.	講座名	講師	ページ
身体を動かそう	⑩	運動不足解消のための エンジョイ大人卓球教室	教育学部教授 吉田和人 NPO法人卓球交流会 山田耕司	15
	⑪	ノルディックウォーキング & エクササイズと里山自然体験	教育学部准教授 杉山康司 教育学部准教授 祝原 豊 名誉教授 中野偉夫 教育学部技術専門職員 重岡廣男	16
指導者を育てる	⑫	小学校外国語活動スキル アップ講座	教育学部准教授 矢野 淳	17
	⑬	問題を通して関係を深める	教育学部准教授 加藤弘通 教育学部附属教育実践総合センター教授 杉山 孝	18
	⑭	日本語教育とその周辺	国際交流センター教授 原沢伊都夫 国際交流センター准教授 袴田麻里 国際交流センター非常勤講師 松葉優子 国際交流センター教授 熊井浩子 国際交流センター准教授 案野香子	19

# 公開講座実施期間一覧

種別	No	講座名	4月			5月			6月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下
教養を高める	①	世界の演劇文化の楽しみ方						■			
	②	対人援助サービスの質的向上を目指して ～ヒューマンケアに支えられた共生社会のために～									■
	③	聞いてよかった!日本語ゼミナール									
	④	高齢化社会における地域とまちづくり									
	⑤	アジアの人々と暮らしは今									
	⑥	情報学アラカルト講座2009									
科学・自然に親しむ	⑦	体験・大学の化学実験									
	⑧	静大キャンパス探訪 ～キャンパス内の自然と歴史に触れよう～									
	⑨	バイオテクノロジー体験 ～生長点培養をしてみよう～									
身体を動かそう	⑩	運動不足解消のための エンジョイ大人卓球教室									
	⑪	ノルディックウォーキング&エクササイズと 里山自然体験									
指導者を育てる	⑫	小学校外国語活動スキルアップ講座									
	⑬	問題を通して関係を深める									
	⑭	日本語教育とその周辺									

7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

## 世界の演劇文化の楽しみ方

趣 旨	「インド古典舞踊」「じゃじゃ馬ならし」「ふたりの女」「スカパンの悪だくみ」について、静岡大学の4名の教員がわかりやすく読み解きます。
日 程	2009年5月23日(土) 13:30~16:30
講 師	人文学部教授 上利博規(哲学・芸術文化) 人文学部教授 鈴木実佳(イギリス文学) 人文学部教授 岡崎真紀子(国文学) 人文学部准教授 花方寿行(スペイン・ラテンアメリカ文化)
プログラム	①「The Taming of the Shrew」(鈴木) ②「『スカパンの悪だくみ』とスペイン文学・演劇」(花方) ③「唐十郎『ふたりの女』へのアプローチ—日本文学研究の立場から」(岡崎) ④「インドの演劇文化とクーリヤットム」(上利)
定 員	30人
対 象	一般市民
受 講 料	600円
会 場	静岡芸術劇場(グランシップ内) [静岡市駿河区池田79-4]
主催・問合せ	静岡大学人文学部総務係 ☎054-238-4483
共 催	静岡県舞台芸術センター



# 対人援助サービスの質的向上を目指して ～ヒューマンケアに支えられた共生社会のために～

趣 旨	経済状況が悪化する中、医療や福祉、教育、行政など多様な領域において、対人援助サービスの重要性がかつてないほどに高まっています。本講座では、こうした状況に適切な形で対応するために必要な知識を、各領域の研究者によって提供することを目的としています。
日 程	2009年6月23日(火)・30日(火)・7月7日(火)・14日(火)・21日(火)・28日(火) [全6回] 18:30～20:30 (7/28のみ 18:30～19:30)
講 師	人文学部教授 松田 純(社会哲学) 法科大学院教授 藤本 亮(法社会学) 人文学部准教授 堂園俊彦(医療倫理学) 人文学部教授 南山浩二(福祉社会学) 人文学部准教授 荻野達史(教育社会学) 人文学部准教授 竹ノ下弘久(社会階層論) 人文学部准教授 橋本 剛(社会心理学) 人文学部教授 平岡義和(環境社会学)
プログラム	6/23 「多文化共生社会のヒューマン・ケア」(松田) 6/30 「ケアをめぐる紛争・法・倫理」(藤本) 7/7 「ケアリングの倫理と論理」(堂園) 7/14 「『病い』の体験を語り・わかちあうことの意味」(南山) 「〈コミュニティ〉と自己決定」：ひきこもり支援を事例に」(荻野) 7/21 「静岡県における多文化共生と日系ブラジル人コミュニティ」(竹ノ下) 「支え合うことの難しさ：社会心理学の観点から」(橋本) 7/28 「児童養護の現場から」(平岡)
定 員	30人
対 象	看護師、介護福祉士、医師、理学療法士、医療や福祉に従事する方、障害者、ひきこもり児童、滞日外国人のサポートに携わっているNPO関係者、教員、行政関係者、家族の方など。
受講料	各回500円(ただし第6回は1時間のため400円)
会 場	静岡市産学交流センター(B-nest) [静岡市葵区御幸町3-21] 小会議室1
主 催	静岡大学生涯学習教育研究センター ☎054-238-4817
問 合 せ	静岡大学人文学部社会学科 堂園俊彦 ☎054-238-4488
共 催	静岡大学大学院人文社会科学研究所臨床人間科学専攻
後 援	静岡県教育委員会

# 聞いてよかった！ 日本語ゼミナール

趣 旨	今年の日本語ゼミナールでは、日本語を日本語文化や発信型コミュニケーションの観点から問い直してみようと、5つの講座をご用意しました。記号論、ジェンダー、和歌・古典文学、日本語教育、語彙論など、盛りだくさんな内容になっています。すべての講師は、一日中みなさまとご一緒しますので、空き時間はどうぞ質問攻めにしてやってください。
日 程	2009年9月12日(土) 9:30~17:00
講 師	人文学部教授 勝山幸人(日本語学・日本文学) 人文学部教授 服部義弘(英語学・一般音声学) 人文学部教授 城岡啓二(ドイツ語学・対照言語学) 人文学部教授 熊谷滋子(社会言語学) 人文学部准教授 大村光弘(英語学)
プログラム	9:40~10:50「新語形成の日英対照」(服部) 11:00~12:10「いろは歌と<言葉遊び>の系譜」(勝山) 13:00~14:10「女ことばの記号論」(熊谷) 14:20~15:30「文化を映し出す日本語」(大村) 15:40~16:50「変化する日本語の近過去を観察する一國語読本と外国人向け日本語教科書から」(城岡) 16:50~17:00 授業のまとめ
定 員	40人
対 象	一般市民、高校生、留学生、外国人
受 講 料	2,000円
会 場	静岡市産学交流センター(B-nest) [静岡市葵区御幸町3-21] 小会議室1・2 ※昼食・駐車場の用意はありません。 ※会場までの地図は、P22の交通案内をご覧ください。
申 込 先	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (FAX) 054-237-3612 (メール) jinbun@adb.shizuoka.ac.jp (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文学部総務係 宛 ※氏名、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込期間	8月3日(月)~9月4日(金)の間、先着順に受け付けます。
主催・問合せ	静岡大学人文学部総務係 ☎054-238-4483
後 援	静岡県教育委員会

# 高齢化社会における 地域とまちづくり

趣 旨	急激な高齢化社会の到来によって、地域社会は構造的にも機能的にもそのあり方を大きく変えつつあります。また、地域社会における相互扶助機能の低下や「限界集落」化の問題などが指摘され、地域において高齢化社会における地域社会のあり方が鋭く問われています。そこで、高齢化社会を迎えるにあたり、今後の地域社会をどのように見据え、まちづくりをどのように進めていけばいいのかを考えます。
日 程	2009年9月12日(土)・19日(土)・26日(土) [全3回] 14:00~16:00
講 師	教育学部准教授 中條暁仁(人文地理学) 教育学部准教授 矢野敬一(民俗学) 人文学部教授 南山浩二(社会学)
プログラム	9/12「高齢者は『弱者』なのか?~『ポジティブな高齢者』像の構築を目指して~」(中條) 9/19「祭りを継続させる・イベントを立ち上げる~地域の存続戦略を探る~」(矢野) 9/26「家族・地域社会のゆくえと高齢者介護」(南山)
定 員	50人
対 象	一般市民
受 講 料	1,500円
会 場	沼津市民文化センター [沼津市御幸町15-1] 大会議室 ※会場までの地図は、P23の交通案内をご覧ください。
申 込 先	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (FAX) 054-238-4817 (メール) LLC@ipc.shizuoka.ac.jp (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学生涯学習教育研究センター宛 ※氏名、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込締切	9月4日(金)
主催・問合せ	静岡大学生涯学習教育研究センター ☎054-238-4817
後 援	静岡県教育委員会

# アジアの人々と暮らしは今

趣 旨	1980年代からのアジアブームは、世界的経済不況のもとで落ち着きを取り戻したように見える今日、アジアの人々や暮らしの様子をもっと実感してみましょ。そこには、生活環境の改善や人権の尊重が急がれる地域がたくさんあります。世界とつながりながら、同時に伝統的な暮らしの大切さを守り、心身ともに豊かに生きるべき道はどこにあるのか。「アジアの人々と暮らしの今」を知ることは、これからの日本が進むべき道についても教えてくれます。
日 程	2009年9月26日(土)・10月3日(土)・10日(土) [全3回] 13:00~15:00
講 師	人文学部教授 大野 旭(文化人類学) 人文学部教授 浅利一郎(経済学) 人文学部教授 上利博規(哲学・文化論)
プログラム	9/26 「アジアにおける民族問題の現在—中国内モンゴル自治区におけるモンゴル人大量虐殺事件から考える」(大野) 10/3 「アジアと日本の経済—組織と文化」(浅利) 10/10 「グローバル化するアジアと伝統—置き去りにされているものは何か?」(上利)
定 員	27人
対 象	一般市民
受 講 料	1,000円
会 場	静岡市産学交流センター(B-nest) [静岡市葵区御幸町3-21] 小会議室2 ※会場までの地図は、P22の交通案内をご覧ください。
申 込 先	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (FAX) 054-237-3612 (メール) jinbun@adb.shizuoka.ac.jp (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文学部総務係宛 ※氏名、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込締切	9月11日(金)
主催・問合せ	静岡大学人文学部総務係 ☎054-238-4483
後 援	静岡県教育委員会

# 情報学アラカルト講座 2009

趣 旨	本学部の教育特徴、文工融合指向3プログラム制の視点から、同時開講1回きり・自由選択型講座を用意しています。「情報学」の奥の世界へと誘う魅力的なトピックを各講師のユニークな切り口と平易な講義でお伝えすることにより、地域市民の皆様や本学学生と、情報学の「知」を共有する企画です。
日 程	2009年11月14日(土) 10:30~12:00
講 師	情報学部教授 竹林洋一(コピキタス社会におけるヒューマン・インタラクション) 情報学部准教授 竹内勇剛(認知科学) 情報学部教授 雨宮正彦(科学技術論) 情報学部教授 高松良幸(日本美術史)
プログラム	次の①~④の講座のうち一つを受講できます。 ①人間・社会を活性化するヒューマンインタフェースの進化(竹林) ②人とことばとコミュニケーション(竹内) ③技能伝承における「師弟相伝」関係の重要性…現代大学教育に欠けているもの(雨宮) ④情報が「美術」を創る(高松)
定 員	210人
対 象	一般市民及び本学の学生とその保護者
受 講 料	各講座500円
会 場	静岡大学浜松キャンパス [浜松市中区城北3-5-1] ※会場までの地図は、P21の交通案内をご覧ください。
申 込 先	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (FAX) 053-478-1503 (メール) koza2009@inf.shizuoka.ac.jp (葉書) 〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部総務係宛 ※氏名、住所、電話番号、メールアドレス、受講したい講座名を第二希望まで明記してください。 ※会場に駐車場はございませんのでご注意ください。
申込締切	10月30日(金)
主催・問合せ	静岡大学情報学部 ☎053-478-1502
後 援	静岡県教育委員会

# 体験・大学の化学実験

趣 旨	一般の市民を対象に、中学や高校では行われていない化学実験を、実際に体験できる場を設けます。地元市民に当大学の研究教育活動に触れることができる機会を設け、特に、中高生に科学への興味を喚起することを目的とします。
日 程	2009年8月1日(土)、2日(日) [全2回] 10:00~16:00
講 師	機器分析センター准教授 近藤 満(無機化学) 理学部助教 仁科直子(有機化学)
プログラム	8/1 「染色の化学～インジゴによる染色実験～」 8/2 「温度で色が変化する物質の合成～クロミズム挙動を示す金属錯体の合成実験～」
定 員	36人
対 象	原則として中学生以上(小学生は保護者の同伴が必要)
受 講 料	2,000円
会 場	静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836] 共通教育P棟102教室(8/1)・共通教育B棟301教室(8/2) ※会場までの地図は、P20の交通案内をご覧ください。
申 込 先	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (FAX) 054-238-4817 (メール) LLC@ipc.shizuoka.ac.jp (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学生涯学習教育研究センター宛 ※氏名、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込締切	7月29日(水)
主催・問合せ	静岡大学生涯学習教育研究センター ☎054-238-4817
後 援	静岡県教育委員会

# 静大キャンパス探訪

## ～キャンパス内の自然と歴史に触れよう～

趣 旨	静岡キャンパス内を教員引率のもとで散策し、豊かな自然や歴史・文化の痕跡をたどります。
日 程	2009年10月17日(土)・24日(土)・31日(土) [全3回] 10:00～12:00
講 師	人文学部教授 滝沢 誠(考古学) 教育学部技術職員 新妻廣美(系統動物学) 教育学部教授 小南陽亮(植物生態学)
プログラム	10/17 「キャンパス周辺の遺跡を訪ねる」(滝沢) 10/24 「静岡キャンパスの昆虫を探る」(新妻) 10/31 「植物から見る静岡キャンパスの自然」(小南)
定 員	20人
対 象	一般市民
受講料	1,000円
会 場	静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836] ※会場までの地図は、P20の交通案内をご覧ください。
申込先	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (FAX) 054-238-4312 (メール) kenkyu2@adb.shizuoka.ac.jp (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学研究協力・情報チーム共同施設担当宛 ※氏名、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込締切	10月9日(金)
主催・問合せ	静岡大学学術情報部研究協力・情報チーム共同施設担当 ☎054-238-4264
後 援	静岡県教育委員会

# バイオテクノロジー体験 ～生長点培養をしてみよう～

趣 旨	近年、遺伝子組み換えやクローン牛誕生などのバイオテクノロジー（バイテク）が新しい科学技術として話題になっています。しかし、我々は昔から、酒・味噌・ヨーグルトなどの製造にバイテクを利用してきました。この講座では、園芸の分野で行われている組織培養による苗の繁殖技術を学び・体験することで、この古くて新しいバイテクを身近なものとして実感してもらいます。併せて、農業の世界での新しい技術への取り組みの状況について理解する機会とします。
日 程	2009年10月31日（土） 9:45～12:15
講 師	農学部准教授 河原林和一郎（花卉園芸学） 農学部助教 浅井辰夫（作物栽培学） 農学部助教 八幡昌紀（果樹園芸学） 農学部技術専門職員 増田幸直 農学部技術専門職員 西川浩二 農学部技術専門職員 成瀬博規
プログラム	園芸分野で利用される組織培養法の紹介後、顕微鏡下で植物の芽（生長点）を観察、切り出し、試験管内で培養する生長点培養技術を実習します。
定 員	20人
対 象	中学生以上
受 講 料	1,000円
会 場	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター 藤枝フィールド [藤枝市仮宿63] ※会場までの地図は、P22の交通案内をご覧ください。
申 込 先	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください（先着順）。 ①FAX 054-644-4641 ②メール nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp ③葉書 〒426-0001 藤枝市仮宿63 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター事務室 ※氏名、年齢（学年）、住所、性別、電話番号、FAX、メールアドレス、交通手段（徒歩・自転車・自動車）を明記してください。
申込締切	10月16日（金）
主催・問合せ	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター ☎054-641-9500（センター事務室）
後 援	静岡県教育委員会



# 運動不足解消のための エンジョイ大人卓球教室

趣 旨	教育学部教員、及び地域の卓球指導者が講師、静岡大学卓球部の学生が実技補助者となり、参加者が受講後も、生涯スポーツとして卓球を継続的に楽しめるようになることを目的とします。生涯にわたって卓球を楽しむために必要な基礎的な技術や知識の指導のほか、静岡地域において初級者でも利用できる卓球教室、卓球専門店などの情報提供なども行います。
日 程	2009年10月3日(土) 13:30~16:00 2009年10月4日(日) 9:00~12:30
講 師	教育学部教授 吉田和人(卓球、スポーツバイオメカニクス) NPO法人卓球交流会 山田耕司
プログラム	10/3「ラケットを握ろう」「ラケットでボール操作をしよう」「フォアハンドでラリーを続けよう」 10/4「バックハンドでラリーを続けよう」「スマッシュを決めよう」「ゲームを楽しもう」
定 員	50人
対 象	一般市民
受 講 料	3,000円
会 場	静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836] ※会場までの地図は、P20の交通案内をご覧ください。
申 込 先	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (FAX) 054-237-6347 (メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込締切	9月18日(金)
主催・問合せ	静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422
共 催	NPO法人卓球交流会
後 援	静岡県教育委員会

# ノルディックウォーキング& エクササイズと里山自然体験

趣 旨	<p>何時でも、何処でも安全に楽しむことのできるノルディックウォーキングおよびノルディックエクササイズを体験します。体験を通して、健康・スポーツ科学および生物環境科学の面白さを学び、身体の内部および外部環境の改善から自身の健康を考える機会にしたいと思います。講座は全3回行い、参加者が自宅でもできるトレーニング法や体力テストについて理解しながらノルディックウォーキング&amp;エクササイズを修得していきます。また、ノルディックウォーキング体験で歩くコースは教育学部自然観察実習地を基点とした静岡大学周辺の里山とし、里山の自然環境や食の安全について学び、散策後には里山で取れる山菜などを実際に食すなどの機会をつくり、健康について講師や参加者同士の親睦を図りながら座談します。</p>	
日 程	<p>2009年11月9日(月)・16日(月)・30日(月) [全3回] 9:30~11:30</p>	
講 師	<p>教育学部准教授 教育学部准教授 名譽教授 教育学部技術専門職員</p>	<p>杉山康司(健康・スポーツ科学) 祝原 豊(運動生理学) 中野偉夫(健康・運動学) 重岡廣男(園芸学)</p>
プログラム	<p>11/9「体力診断テスト、ノルディックと静大キャンパスを知る」体力診断テストを行い、体力チェックを行った後、ノルディックエクササイズ初級コースを紹介し、後半はノルディックウォーキングを体験しながら静大キャンパスの自然を学んでいきます。</p> <p>11/16「ロングコースを歩いて体力づくり、秋を見つける」静大の裏山を歩いて秋の味覚を感じられるような自然と里山の環境問題について触れてみたいと思います。</p> <p>11/30「里山を歩いて秋を味わう」日々の体力づくりに役立てるノルディックエクササイズ中級編を紹介し、また、ノルディックウォーキングで歩きながらウォーキング後に秋の味覚を味わいながら健康や体力づくり、里山の自然についてスタッフと思いに座談します。</p> <p>※天候によりプログラム内容を変更する場合があります</p>	
定 員	<p>20人</p>	
対 象	<p>メディカルチェック等で歩くことを制限されていない健康な方</p>	
受 講 料	<p>5,500円</p>	
会 場	<p>静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836] ※会場までの地図は、P20の交通案内をご覧ください。</p>	
申 込 先	<p>FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。                  (FAX) 054-237-6347                  (メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp                  (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部                  総務係宛                  ※氏名、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。</p>	
申 込 締 切	<p>10月23日(金) ※定員になり次第締め切ります。</p>	
主 催 ・ 問 合 せ	<p>静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422</p>	
後 援	<p>静岡県教育委員会</p>	

# 小学校外国語活動 スキルアップ講座

趣 旨	平成23年度から小学校外国語活動が領域として必修化されることを受け、移行期間に入る21年度から多くの小学校で外国語活動が実施されます。午前の部では、基礎から発展までの授業スキルと教室英語を身につけ、先進校の事例を研究し、「英語ノート」の活用法について考察します。午後の部では、事前に各自用意していただく1回分の学習指導案を中心に、議論やアイデア交換を行います。指導案はA4判原則1枚(両面印刷可)。45分授業で学年任意。英語ノートを使用する授業可。参加人数部数(後日連絡)を講座開始前に提出していただく予定です。
日 程	2009年8月21日(金) 10:00~16:00
講 師	教育学部准教授 矢野 淳(英語教育)
プログラム	10:00~12:00 小学校外国語活動に関する基本的知識を学びます。英語の発音・音法について学び、教室英語を練習します。 13:00~16:00 英語ノート(1)(2)を活用した活動例を学びます。参加者が持参した活動案を基に、外国語活動について議論します。
定 員	25人
対 象	静岡県内の小・中学校教員
受 講 料	500円
会 場	静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836] 教育学部G棟203教室 ※会場までの地図は、P20の交通案内をご覧ください。
申 込 先	FAX・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (FAX) 054-238-1071 (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター宛 ※氏名、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込締切	8月14日(金)
主催・問合せ	静岡大学教育学部附属教育実践総合センター ☎054-238-1071
共 催	静岡市教育委員会
後 援	静岡県教育委員会

# 問題を通して関係を深める

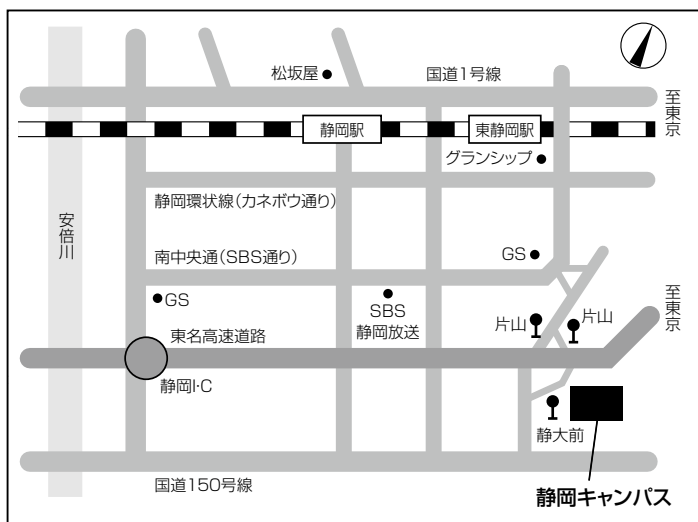
趣 旨	学校現場においては子ども・保護者をふくめさまざまな問題に直面します。その時、教職員がその問題をどのようにとらえ、理解し、関わるかによって、その相手となる子ども・保護者と関係を悪化させてしまうこともあります。また逆に、関係を深めるきっかけとなることもあります。この講座では心理学の特に最近注目されるようになった〈ナラティブ、社会構成主義〉といった立場から問題をどのようにとらえ、関わるのか事例を通して考えていきます。
日 程	2009年8月26日(水) 13:30~16:30
講 師	教育学部准教授 加藤弘通(学校教育) 教育学部附属教育実践総合センター教授 杉山 孝(学校教育)
プログラム	①見方を変える意味をしる：発達や自殺を例に ②見方・常識を壊す ③心理学の基本的な見方について知る ④様々な事例(発達障害、不登校、非行など)を検討する
定 員	30人
対 象	学校教員、学校教育関係者
受 講 料	1,000円
会 場	静岡市産学交流センター(B-nest) [静岡市葵区御幸町3-21] ※会場までの地図は、P22の交通案内をご覧ください。
申 込 先	FAX・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 ①(FAX) 054-238-1071 ②(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター宛 ※氏名、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込締切	8月18日(火)
主催・問合せ	静岡大学教育学部附属教育実践総合センター ☎054-238-1071
共 催	静岡市教育委員会
後 援	静岡県教育委員会

# 日本語教育とその周辺

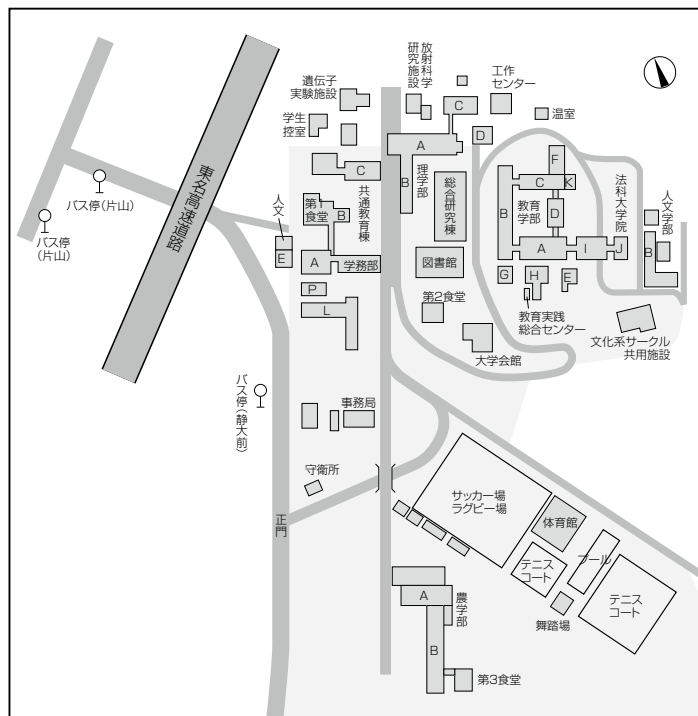
趣 旨	<p>外国人に日本語を教えるには、教授法や文法といった実践的な知識だけでなく、言語教育に関する様々な分野の知識が求められます。この講座では、こうした日本語教育に関する領域についての知識を深め、これらをどのように日本語教育に活用していくかを考えます。</p> <p>静岡大学で日本語教育を専門とする経験豊富な講師陣が、楽しく、わかりやすく解説します。日本語に興味のある方や日本語ボランティアの方等、ぜひご参加ください。未経験者も大歓迎です。</p>										
日 程	2009年10月10日(土)・17日(土)・24日(土)・31日(土)・11月7日(土) [全5回] 13:30~16:30										
講 師	<table border="0"> <tr> <td>国際交流センター教授</td> <td>原沢伊都夫(日本語教育)</td> </tr> <tr> <td>国際交流センター准教授</td> <td>袴田麻里(日本語教育)</td> </tr> <tr> <td>国際交流センター非常勤講師</td> <td>松葉優子(日本語教育)</td> </tr> <tr> <td>国際交流センター教授</td> <td>熊井浩子(日本語教育)</td> </tr> <tr> <td>国際交流センター准教授</td> <td>案野香子(日本語教育)</td> </tr> </table>	国際交流センター教授	原沢伊都夫(日本語教育)	国際交流センター准教授	袴田麻里(日本語教育)	国際交流センター非常勤講師	松葉優子(日本語教育)	国際交流センター教授	熊井浩子(日本語教育)	国際交流センター准教授	案野香子(日本語教育)
国際交流センター教授	原沢伊都夫(日本語教育)										
国際交流センター准教授	袴田麻里(日本語教育)										
国際交流センター非常勤講師	松葉優子(日本語教育)										
国際交流センター教授	熊井浩子(日本語教育)										
国際交流センター准教授	案野香子(日本語教育)										
プログラム	<p>10/10 「どのように言葉を学ぶのか?」(原沢)</p> <p>10/17 「日本語教育と国語教育の違いは?」(袴田)</p> <p>10/24 「音声を教えるコツは何だろうか?」(松葉)</p> <p>10/31 「敬語とコミュニケーション」(熊井)</p> <p>11/7 「日本語を教えるにあたって」(案野)</p>										
定 員	30人										
対 象	日本語教育関係者または日本語教育に興味のある社会人										
受 講 料	4,000円(全5回分)										
会 場	静岡市産学交流センター(B-nest) [静岡市葵区御幸町3-21] 7階会議室 ※会場までの地図は、P22の交通案内をご覧ください。										
申 込 先	<p>所定の申込用紙を下記の静岡県国際交流協会へ請求してください。必要事項を記入して申し込みます。</p> <p>〔住所〕 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F (財)静岡県国際交流協会</p> <p>〔TEL〕 054-202-3411 〔FAX〕 054-202-0932</p> <p>〔メール〕 info@sir.or.jp</p> <p>申込用紙は下記のホームページからもダウンロードが可能です。応募者多数の場合は抽選といたします。受講料は受講者が確定してから、請求させていただきます。</p> <p><a href="http://www.icsu.shizuoka.ac.jp/japan/0901.htm">http://www.icsu.shizuoka.ac.jp/japan/0901.htm</a> (国際交流センターホームページ)</p> <p><a href="http://www.sir.or.jp/">http://www.sir.or.jp/</a> (静岡県国際交流協会ホームページ)</p>										
申込期間	8月1日(土)~9月16日(水)										
主催・問合せ	(財)静岡県国際交流協会 ☎054-202-3411 静岡大学国際交流センター ☎054-238-4971										
共 催	(財)静岡県国際交流協会										
後 援	静岡県教育委員会										

■静岡大学静岡キャンパス

所在地：静岡市駿河区大谷836

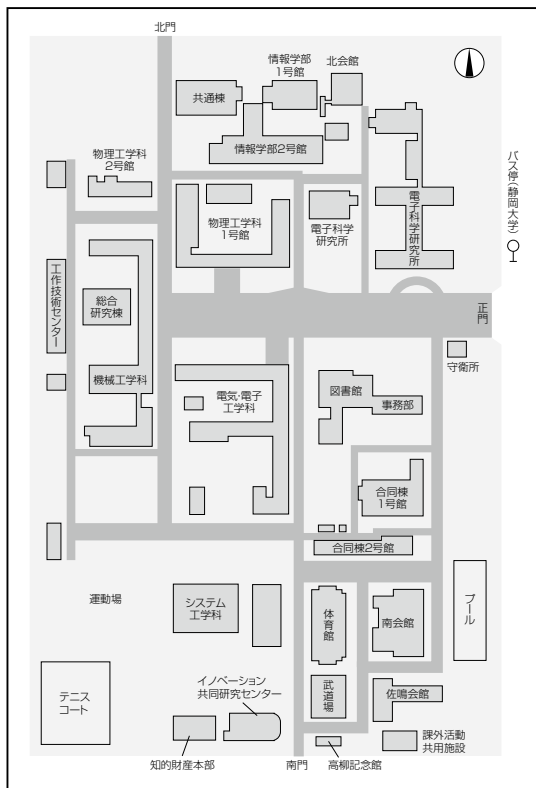
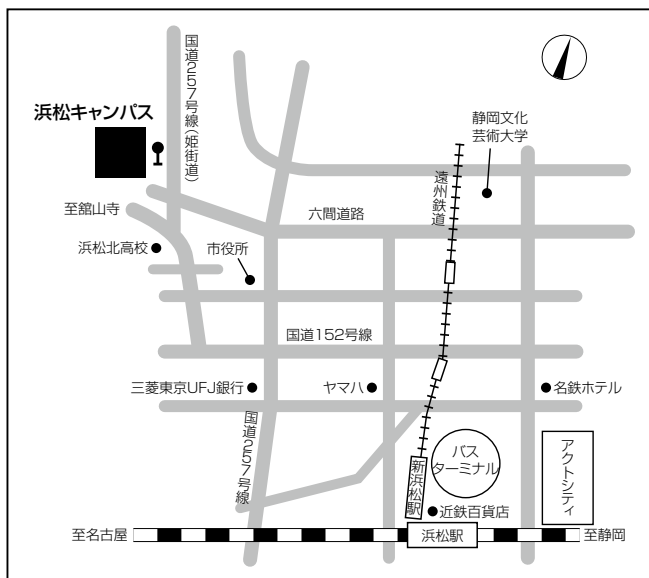


1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス19番乗り場から、「静岡大学」または「大谷」行きに乗車し、「静岡大前」または「片山」バス停下車（所要時間約25分、1時間に5～7本運行）。※静岡駅午後発の「大谷」行きバスは「静岡大前」バス停を経由しないため、「片山」バス停で降りてください。「片山」バス停は2ヶ所ありますのでご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。



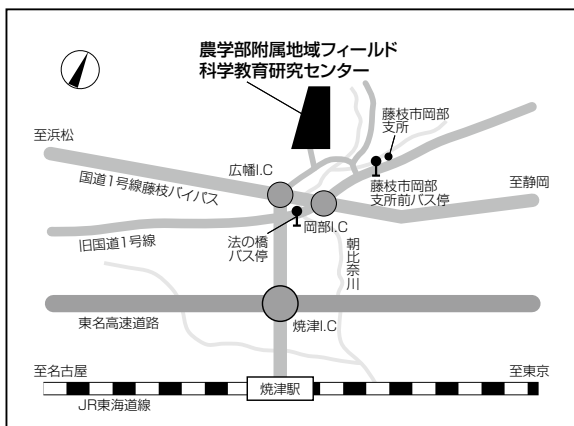
■静岡大学浜松キャンパス

所在地：浜松市中区城北3-5-1



1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し(全路線)、「静岡大学」バス停車(所要時間約20分、1時間に10本程度運行)。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。

## ■静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

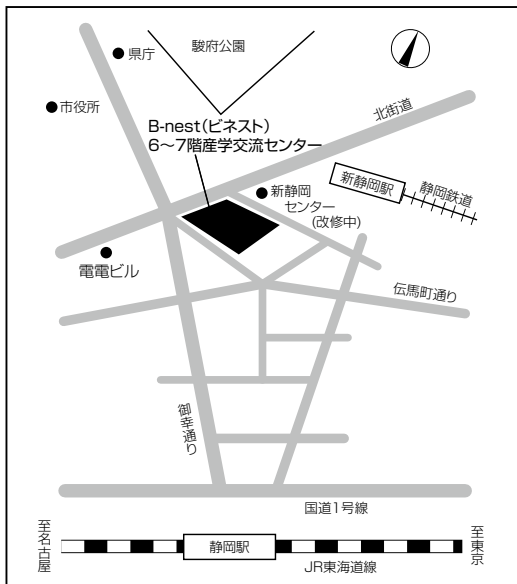


所在地：  
藤枝市仮宿63

### 交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス4番乗り場から、「藤枝駅前行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス停下車徒歩20分（バス所要時間約40分）。
2. JR藤枝駅しずてつジャストラインバス2番乗り場から「新静岡行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス停下車徒歩20分（バス所要時間約20分）。
3. JR焼津駅からタクシーで約15分。
4. 東名高速道路焼津インターより車で約10分、国道1号線藤枝バイパス広幡インターより車で約5分。

## ■静岡市産学交流センター（B-nest） 所在地：静岡市葵区御幸町3-21



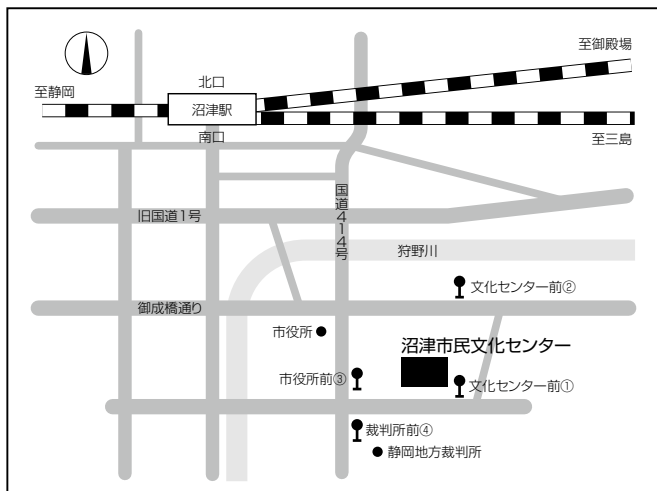
### 交通案内

JR静岡駅北口から徒歩5分（ペガサート6～7階）



## ■ 沼津市民文化センター

所在地：沼津市御幸町15-1



## 交通案内

1. JR沼津駅南口より徒歩20分。
2. JR沼津駅南口からバス（バス所要時間約7分）。

のりば	会社名	最寄りの停留所
④番	沼津登山東海バス	文化センター前①
⑥番	沼津登山東海バス	文化センター前②
⑦番	伊豆箱根バス	市役所前③・裁判所前④



## 発行

---

静岡大学生涯学習教育研究センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

☎054-238-4817 (FAX兼)

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

URL: <http://www.shizuoka.ac.jp/~cerll/>